

- 問1 租税は「国税」と「地方税」に分けられ、さらにそれぞれが「直接税」と「間接税」に細分化されます。国に納める税金（国税）であり、かつ、納税者と担税者が一致する（直接税）の組み合わせとして、適切なものはどれですか。（2019年 滋賀県公立入試 類似）
1. 法人税と関税
 2. 所得税と消費税
 3. 住民税と事業税
 4. 所得税と法人税
-
- 問2 日本の所得税などで採用されている、課税対象となる所得の額が大きくなるに従って、段階的に高い税率を適用する仕組みを何といいますか。（2024年 徳島県公立入試 類似）
1. 固定税率
 2. 逆進性
 3. 累進課税
 4. 一律課税
-
- 問3 日本の社会保障給付費の現状について、給付額の内訳とその背景を説明した文として、最も適切なものはどれか。（2022年 佐賀県公立入試 類似）
1. 少子化対策が最優先課題となったため、子育て世帯への給付費が介護費を抜いて最大の割合を占めている。
 2. 高齢化の進展により、給付費全体の中で年金が占める割合が最も大きく、約35%に達している。
 3. 高度経済成長期に制度が整えられた結果、現在は医療費の支出が年金を上回り、最大の項目となっている。
 4. 制度の効率化が進んだため、年金・医療・介護の支出額はほぼ均等な割合で推移している。
-
- 問4 日本の所得税に導入されている「累進課税制度」の目的やその効果について説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2017年 愛知県公立入試 類似）
1. 所得の多い少ないに関わらず一律の税率を適用することで、納税手続きを簡素化し事務コストを削減する。
 2. 所得が多い人ほど高い税率を課すことで、国民の間の経済的格差を縮小させ、所得の再分配を図る。
 3. 地方自治体の財政力の差を埋めるために、国がいったん徴収した税金を各自治体へ配分し直す。
 4. 景気が過熱した際に、すべての国民の購買力を一律に抑制することで、物価の急激な上昇を抑える。
-
- 問5 社会保障の内容を分類した資料において、感染症の予防、公害対策、食品の安全性の確保、上下水道の整備といった項目が一つの区分にまとめられています。これらの施策に共通する「公衆衛生」の役割として、最も適切な説明はどれですか。（2019年 三重県公立入試 類似）
1. 疾病の予防や生活環境の改善を通じて、地域住民や国民全体の健康を維持・増進すること
 2. 病気や怪我、失業などのリスクに備え、人々が事前に保険料を出し合って相互に支え合うこと
 3. 憲法第25条の理念に基づき、経済的に困窮する人々に対して最低限度の生活を保障すること
 4. 高齢者や障害者、児童など、社会的な支援を必要とする人々に対して直接的な福祉サービスを提供すること
-
- 問6 所得税の仕組みにおいて、課税される所得金額が195万円以下の部分には5%の税率が適用されますが、所得が増えるに従って税率は段階的に引き上げられ、4000万円を超える部分には最高で45%の税率が課されるよう設計されています。このような仕組みを導入している公的な目的として、最も適切な説明はどれですか。（2021年 島根県公立入試 類似）
1. 所得の高い層に重い負担を求めることで、経済的な格差を縮小させる所得の再分配を行うため
 2. すべての国民に一律の税率を適用することで、税負担の公平性を確保し、納税事務を簡略化するため
 3. 消費税のように商品購入時に一律に課税することで、景気に左右されない安定した収収を確保するため
 4. 特定の輸入品に対して高い税率を課すことで、安価な外国製品から国内の農家や企業を保護するため
-
- 問7 少子高齢社会への対策として、2000年から導入された「介護保険制度」が創設された背景と目的について述べた文として、正しいものはどれですか。（2018年 香川県公立入試 類似）
1. 高齢者の医療費が国の財政を圧迫したため、65歳以上の高齢者全員に民間保険への加入を義務づけるため。
 2. 若年層の失業率が高まったため、介護現場での雇用を創出して若者の労働力を確保することを主な目的とするため。
 3. 核家族化の影響で高齢者の独居が増えたため、すべての高齢者を公的な施設に収容して管理するため。
 4. 介護を必要とする高齢者が増加する中で、家族だけで行っていた介護を社会全体で支える仕組みに変えるため。
-
- 問8 日本の社会保障制度の柱の一つである「社会保険」には、公的医療保険、年金保険、介護保険、雇用保険、労働者災害補償保険の5種類があります。これらの制度に共通する性質として、最も適切な説明はどれですか。（2022年 熊本県公立入試 類似）
1. 民間企業が営利目的で運営しており、支払う保険料の額によって受けられる医療サービスの質が決定される仕組みである。
 2. 全額が国や地方公共団体の税金によって賄われ、生活が困窮した人に対して最低限度の生活を保障する仕組みである。
 3. 法律によって対象となる国民の加入が義務付けられており、出し合った保険料などで費用の大部分を賄う仕組みである。
 4. 加入するかどうかは個人の自由であり、契約した個人のみが給付を受ける仕組みである。
-
- 問9 不況の際、政府が景気を刺激して経済を活性化させるために行う財政政策の組み合わせとして、最も適切なものはどれですか。（2023年 山形県公立入試 類似）
1. 公共事業などの歳出を減らし、増税を行う
 2. 公共事業などの歳出を増やし、減税を行う
 3. 公共事業などの歳出を増やし、増税を行う
 4. 公共事業などの歳出を減らし、減税を行う
-
- 問10 高速道路などの社会資本を整備する際、建設予定地から貴重な古墳群が発見されることがあります。このような場合、古墳群の直下にトンネルを掘削するなどの技術的工夫が検討されることがありますが、その理由として最も適切な説明を選びなさい。（2023年 愛知県公立入試 類似）
1. 公共工事の建設費用を大幅に抑制し、浮いた予算を文化財の移設や展示施設の建設に充てるため。
 2. 歴史的な遺構をあえて地下に隠すことで、高速道路を走行する車両の安全を確保するため。
 3. 遺跡を別の場所に移築・復元する際の手間を省き、工事期間を当初の計画よりも短縮するため
 4. 文化財保護と公共の利益の両立を図り、歴史的遺産の現地保存と都市機能の向上を同時に進めるため。
-
- 問11 我が国の租税制度において、納税者（税金を納める義務がある人）と、実際にその税金を負担する担税者が一致する税金を直接税と呼びます。この直接税に分類される国税のうち、個人の一年間の所得に対して課される税金として正しいものはどれですか。（2017年 山形県公立入試 類似）
1. 所得税
 2. 酒税
 3. 関税
 4. 消費税
-
- 問12 所得税における税率の変化と仕組みに関する説明として、正しいものはどれですか。（2026年 岐阜県公立入試 類似）
1. 所得の多寡に関わらず一律の税率が適用され、逆進性を解消する。
 2. 景気変動に合わせて政府が自動的に税率を変動させ、消費を調整する。
 3. 商品の購入時に課されるもので、所得が低い人ほど負担感が大きくなる。
 4. 所得が高くなるほど税率が高くなり、所得の再分配機能を持つ。